

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2005-260467(P2005-260467A)

【公開日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-037

【出願番号】特願2004-67433(P2004-67433)

【国際特許分類】

<b>H 04 N</b>	<b>1/41</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 06 T</b>	<b>9/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 04 N</b>	<b>7/30</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 04 N</b>	<b>5/232</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 04 N</b>	<b>101/00</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

<b>H 04 N</b>	<b>1/41</b>	<b>B</b>
<b>G 06 T</b>	<b>9/00</b>	
<b>H 04 N</b>	<b>7/133</b>	<b>Z</b>
<b>H 04 N</b>	<b>5/232</b>	<b>Z</b>
<b>H 04 N</b>	<b>101:00</b>	

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月30日(2007.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像データを圧縮処理する圧縮処理手段を有する画像処理装置であつて、

前記画像データから画素の特徴量が一定範囲内にある平坦画素領域を検出する平坦画素領域検出手段と、

前記平坦画素領域検出手段により検出された平坦画素領域の画素数が前記画像データの全画素数に対して占める割合を算出する平坦画素領域率算出手段と、

前記平坦画素領域率算出手段により算出された平坦画素領域率に基づいて前記画像データの圧縮率を決定する圧縮率決定手段と、

前記圧縮率決定手段により決定された圧縮率で前記圧縮処理手段に前記画像データを圧縮処理させる圧縮処理制御手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

画像データを圧縮する圧縮率が複数記憶された圧縮率記憶手段と、前記圧縮率記憶手段に記憶された複数の圧縮率の中から前記画像データを圧縮する圧縮率を選択して入力する圧縮率入力手段と、前記圧縮率入力手段により入力された圧縮率で画像データを圧縮処理する圧縮処理手段と、を有する画像処理装置であつて、

前記画像データから画素の特徴量が一定範囲内にある平坦画素領域を検出する平坦画素領域検出手段と、

所定範囲内の特徴量を有する平坦画素領域の画素数が前記画像データの全画素数に対して占める割合を算出する平坦画素領域率算出手段と、

前記平坦画素領域率算出手段により算出された平坦画素領域率に基づいて前記画像データ

タの圧縮率を決定する圧縮率決定手段と、

前記圧縮率入力手段により入力された圧縮率が前記圧縮率決定手段により決定された圧縮率よりも高い場合に、前記圧縮率決定手段により決定された圧縮率で前記圧縮処理手段に前記画像データを圧縮処理させる圧縮処理制御手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項3】

前記圧縮処理制御手段は、前記圧縮率入力手段により入力された圧縮率が前記圧縮率決定手段により決定された圧縮率よりも高い場合に、前記圧縮率決定手段により決定された圧縮率で前記圧縮処理手段に前記画像データにおける前記平坦画素領域を圧縮処理させ、前記圧縮率入力手段により入力された圧縮率で前記圧縮処理手段に前記画像データにおける前記平坦画素領域外の領域を圧縮処理させることを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の画像処理装置であって、前記圧縮処理制御手段は、前記圧縮率入力手段により入力された圧縮率が前記圧縮率決定手段により決定された圧縮率よりも高い場合に、前記圧縮率決定手段により決定された圧縮率で前記圧縮処理手段に前記画像データにおける前記平坦画素領域を圧縮処理させ、前記圧縮率入力手段により入力された圧縮率で前記圧縮処理手段に前記画像データにおける前記平坦画素領域外の領域を圧縮処理させることを特徴とする。